

# はにわ通信

No.183 平成22(2010)年6月号



はにわ館の模型は  
こだわりの逸品です。

## 【「模型」で学ぶ昔の暮らし】

初夏の日差しがまぶしい季節になり、鈴の森公園の噴水の周りでは、元気に水浴びをする子どもさんたちの姿をたくさん見るようになりました。この時期は、遠足・校外学習・ウォークラリーなどの行事で見学に来てくれるお客様の数がグンと多くなり、文化財センターもにぎわいます。見学するみなさんは、展示されている本物の埴輪を目の前にして、職員の説明を熱心に聴いてくださいます。

また、展示室には発掘調査で見つかった埴輪や土器のほか、見学されるみなさんがわかりやすいように、職員手作りのジオラマなどの模型をおくようにしています。歴史を勉強するためには、本物を見ることはもちろんですが、模型などの資料を通して昔の人びとの暮らしを想像することも、とても大切なことだと考えます。そこで、模型を作る時には、ご覧いただいたみなさんが、何か発見できるような「しかけ」を入れるよう考えています。

模型を熱心に観察していたみなさんは、「イノシシをつかまえるのに、たくさんの方が囲んでいるよ」「犬もいる」「川に入っている人が魚をつかまえているよ」「山にいる人は木の実を集めているのかな？」などなど、発見したことを私たちに教えてください。どれも、模型に興味をもって、じっくり観察したからこそ見つかることのできたことばかりです。時には予想を超えるユニークな発見も……。私たち職員は、みなさんのこのような様子を拝見するたびに、「模型を展示してよかった、次の模型作りもがんばろう!!」と思っています。

現在開催中の企画展『教えます!! まつさかの歴史』でも、模型を展示しております。この機会にぜひご覧ください。(担当)



イノシシを狩る人びと(上) ムラの暮らし(下)

## 【梅雨の主役に・・・】

あぢさゐの 下葉にすたく 蛍をば 四ひらの数の 添ふかとぞ見る  
ふじわらのていか 藤原定家

日の暮れるころ、紫陽花(アジサイ)の花も夕やみにかくれます。それと入れかわるようにホタルが飛びはじめ、アジサイの下のほうの葉に集まり光っています。



アジサイの花

ホタルのついたり消えたりする光は、ちょうど四枚(四ひら)の花びら(正確にはガク片で3~5個ある)で咲くアジサイの花が、また一つ増えたようにもみえます。

ひるまの明るい日ざしのもと、上のほうの葉にむらがり咲くアジサイの花にかわり、あたりの暗さによやくたくれを感じるころになると、今度は下葉にありありと花びらのまぼろしが見えたという、初夏のたそがれどきの情景をたくみにとらえています。

文化財センター「はにわ館」のホールからは、鈴の森公園の通路にそって咲くアジサイの群落が見られます。おりからの雨をひき立て役に青や赤紫、青紫など色がうつろふありさまや、雨にうたれて色を濃くするかのようになげなすがたは、雨の季節にいろいろをそえる大切な役目を「あぢさゐ」が主役で、いっしょうけんめい演じているということができそうです。

藤原 定家(「ふじわらのさだいえ」ともいう)鎌倉前期の歌人

(所長)

## 【文化財センター はにわ館・ギャラリー 6月の催し物予定】

【はにわ館】入館料100円(18歳以下無料。)月曜日、祝日の翌日は休館です。

第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ・企画展「おしえます!! まつさかの歴史~縄文・弥生時代編」~6/27(日)

【ギャラリー】入場無料

第1ギャラリー ・アートフォーラム三重松阪『地元作家の今日展2010』6/16(水)~7/4(日)  
\*4日は15時まで

第2ギャラリー ・第20回松阪公民館グループ墨絵の会 6/8(火)~13(日)  
\*8日は正午から、13日は16時まで

・中里和人写真展『ULTRA 臨界夜景』6/19(土)~20(日)  
\*20日は16時まで

第3ギャラリー ・アトリエCHIE 作品展「私が描く・花物語」~トールペイント・デコパージュ・食器絵付~  
6/10(木)~13(日) \*13日は16時まで

開館時間:9時から17時(入館は16時30分まで)



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>